

## 令和6年度 東海大会 2日目コース 予報

### <コース>

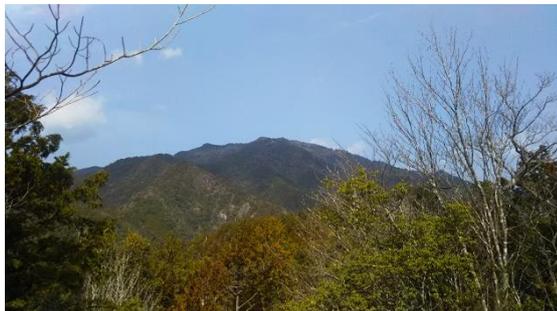
愛知県民の森 センター広場 (S1) → 南尾根登山口 → 南尾根展望台 → 防火水槽④ (CP1) → 国体コース尾根分岐 → 744 分岐 (CP2) → 宇連山山頂 (929.4m) (CP3) → 744 分岐 → 大幸田峠 → モリトピア前 (G1)

愛知県民の森には様々なコースがあり、天気の良い日は多くの登山者でにぎわう。今回は、南尾根・西尾根を利用するコースで宇連山に登る。

モリトピアの西側にある、掲揚塔のある広場を「センター広場」と呼び、ここから男女別一斉にスタートする。横断歩道を渡り、南側にある歩道をしばらく進むと、南尾根登山口 (写真右) が見える。ここから登山道に入る。沢筋を登っていくが、分かりにくい箇所もあり、注意しながら進む。やがてつづら折りに登ると、尾根に突き当たる。「立入禁止」の方ではなく、北【右】に折れると、南尾根である。



しばらく進むと南尾根展望台があり、さらに進むと、「立入禁止」の看板があるので、そこを北【右】に折れる。一旦下るが、すぐに登りになり、眺望の良い区間に入る。時々宇連山方面 (写真左下) を臨みながら尾根を進み、いくつかのピークを過ぎていき、防火水槽④が見えてくる。そこは国体尾根分岐の手前であり、CP1 でもある。全チーム休憩をとる。



南尾根には、庭木にも使われるソヨゴが多くみられる。その葉は互生し、表面は明るい緑で、葉の縁が波打つのが特徴である。果実は10月から11月に赤く熟す。また、シダ類も頻繁に目に入る。主に、コシダとウラジロで、コシダはやや水平から斜め上向きに葉が広がるもそれほど大きくなる。ウラジロは一對の葉は120度ほどの角度をなし、葉はそれぞれ羽状になる。名のとおり裏面は粉白色である。同じ場所に双方が重なるように群生しているところもあるので、その違いを確認してほしい。

さて、防火水槽④すぐ先の国体尾根分岐からは、尾根の東側をトラバースするが、その後に再び尾根に取り付き、登っていく。急登とジグザグした登りが続き、滝沢分岐、滝尾根分岐と分岐を過ぎてしばらく登ると、744 分岐 (CP2) に到着である。

744 分岐からさらに登っていくと、棚山方面との分岐があり、北【右】へ進む。さらに登ると、宇連山山頂 (CP3) に到着であり、ここでも全チーム休憩をとる。下山は、ここまでの道を744 分岐まで戻る。狭い箇所もあるので、登り優先に気を付けながら下る。744 分岐からは東【左】に折れ、急な下りに入る。ジグザグ状になっているところも多いが、特に雨天時は滑りやすい箇所もあり、足元に注意しながら進む。下りが穏やかになってしばらくすると、大幸田峠 (おおこうだとうげ) である。ここから尾根を外れ、下りていくと林道に出会う。

大津谷林道に出たら、道なりに林道を進む。シュートン沢への道と出合っからのコースは、3日目と同じ道になる。大津谷川 (おおつだにがわ) 左岸を進んでいくと、鶴鶴橋 (せきれいばし) を通り過ぎたところで下石林道と出会う。さらに進んで、不動滝を通り過ぎたら、間もなくゴールであるモリトピア前 (G1) である。